

## 新聞で遊ぼう！学ぼう！ —子どもぴぴっとクラブ—



あった、あった、これこれ

第1回 6月15日(土) 16名参加  
 第2回 7月13日(土) 16名参加  
 会場 生涯学習センター  
 『遊・YOU 学園』  
 主催 ぴぴっと研究会

新聞を使ったゲームなどを通して、活字に親しみ表現力や国語力を身につけてもらおうと、六月、七月の二回、「子どもぴぴっとクラブ」を開催しました。集まった子どもたち(小学二年生〜六年生)は、一見難しそうな新聞に意外な楽しさがあることを発見し、いきいきと見えま

プログラムのの中から楽しい活動の様子を紹介しましょう。

### 自己紹介ゲーム(名刺交換)

ジャンケンをして勝ったら、あらかじめ書いておいた自分の名刺を相手にあげることができます。手持ちの名刺を早く多くの人に配るゲームです。

### 場所当てゲーム(「これはどこだ」)

見出しや写真、グラフ、野線、絵、マークなどが、何面のどこにあったかをさがすゲームです。

### 関連記事さがしゲーム

子どもに関する記事や、お天気に関する記事など、決められたテーマの記事を、一日の新聞の中からできるだけたくさんさがし出すゲームです。

これはほんの一例です。今年度は十月、十一月、二月にも開催を予定しており、まだまだ他にも楽しい知的ゲームを用意しています。

子どもたちはこのような遊びの中で、友達とふれあい、協力し、集中し、自然に力をつけていきます。ぜひ「子どもぴぴっとクラブ」をのぞきにいらし



お父さんも「どれどれ...」

### 参加した子どもたちの感想より

名刺交換したときに、最後に一枚残ってくやしかった。(小三・女子)  
 いろいろな記事があつて楽しかった。(小四・女子)  
 みんな真剣になって(記事)さがしていてすごいなあと思つた。(小六・男子)

### 第三回子どもぴぴっとクラブ開催!

十月五日(土)午前十時  
 生涯学習センター  
 「遊・YOU 学園」にて

申込みは

TEL・Fax 64 0758 小笠原まで

# 子どもの心を耕す読書のすすめ

子どもの成長は非常に個人差があります。特に読書に関する興味は個人差が大きく、子どもに合う本を選ぶことは大変難しくなります。年齢が低ければ低いほど、子どもの日常生活を観察したり本の読み聞かせをする中で、子どもの本に対する興味や関心を見極めることが大切だと言われています。

読書が好きになる本の選び方 2  
幼児期（3歳から5歳）

## 1. 想像の世界を満喫できる物語絵本

子どもに人気の高い物語絵本の特徴は、子どもが共感できる登場人物がいること、身近なテーマが取り入れられていることです。

想像力を働かせて主人公あるいは登場人物と一体化して絵本を楽しむことは、このあとの読書に欠かすことのできない体験となると言われています。

### <共感できる主人公が登場する絵本>

「おばけのバーバパパ」(大きくなりたい 変身したいという願望)

### <自分と主人公を同一視できる絵本>

「ぼくまいごになったんだ」「はじめてのおるすばん」

### <身近なことがらをテーマにした絵本>

「おふろだいすき」「おやすみなさいのほん」

## 2. 絵本から幼年童話へ

物語絵本を楽しめるようになっても、急いで読み物へすすめる必要はなく、じっくり絵本の良さを満喫させることが大切です。

幼年童話は、絵本と文字が主体の児童読み物の橋渡しとも言われています。しっかりとしたテーマを持った絵本を読み聞かせているうちに子どもは自分一人で本を読みたいという気持ちになります。

挿し絵が多く読みやすい大きな文字で書かれた幼年童話は、“本”を読んだという読了感を体験できます。

# 味

あらがる

新聞を生きた教材として学校などで活用するNIE(教育に新聞を「Newspaper In Education」の第七回全国大会(日本新聞教育文化財団主催)が八月一、二日の両日、札幌市で行われた。全国からNIE実践校の小中高校の先生はじめ、新聞などの関係者約500人が参加した。パネルディスカッション「多メディア環境の中のNIE」では、高度情報化が進む中でNIEが果たす役割について話し合った。私たちを取り巻く環境は情報が多過ぎ物事の本質を見失っている。過剰な情報におぼれないで物事の本質を選択する能力をどうやって養うか。新聞を作ってみることはリテラシーを高めること。情報を選択し分析的に読み取る力「メディアリテラシー」は受信と発信の両方であること。

ぴびっと(PPT)研究会の存在理由をあらためて考えさせられた。もつと真摯に活動に取り組もうと心に言い聞かせ、また大きな夢と希望ももらった。

# 虹の ひろば

沢内村立 せんだん保育所 佐藤 りき子



## 中学生の園児に向けるまなざしの優しさに心を打たれて・・・

沢内中学校3年B組のみなさんが、家庭科の保育単元学習の一環として6月5日と6月19日に園に来てくれました。

今回は、今年度一回目の園児と中学生の交流の様子と中学生、家庭からの感想の一部を紹介します。

6月5日(水)9時～11時まで、園児は中学生のお兄さんお姉さんたちと楽しいひとときを過ごしました。まずは、園児も中学生もお互いの自

### 中学生の感想

最初はどうかちょっと心配だったけど子どもたちに会って見て、とても楽しくなりそうだと思います。

みんなで自己紹介をしておもしろかったしダンスも楽しかった。僕たちが作った名札もプレゼントしたらとても喜んでくれた。そのあと外で砂遊びや花摘みをして最後に僕たちは歌をプレゼントした。疲れたけど楽しい保育実習だった。

己紹介、中学生はリラックスムードで、あらかじめ作ってくれた名札(色々なキャラクター)を子どもたちひとり一人につけてくれました。

この時の園児に向ける中学生の、まなざしの優しさに、かつての保育所の頃の顔がよみがえり心を打たれました。自己紹介のあとは、元気にダンスをしたり外遊びをマンツーマンでやったりと、楽しい交流が見られました。

### 家庭から

昨日はお兄さんお姉さんたちと一緒に遊んだようですね。

「いつも、おれは先生にだっこしているけど昨日はちがった。」と話してくれました。

<園より>

昨年のRくんは、中学生がみえるとなかなか、かかわれなくて担任にだっこされていたが、今年は、中学生のSくんによって自信を得ることができ本人の感激のことばになったようです。

## さんやそう (1)



ウツボ草

道ばたでごく普通に見かける花である。それだけに気にもとめないでいるが、密集した大群落に出会うと目を奪われてしまうほど見事な物である。ウツボとは、昔の武士が弓矢をさして中に背負った道具のことである。トウモロコシ状に萼が集まった状態をウツボにたとえたものと思われる。その一つ一つに紫のシソ科特有の花を咲かせる。

花期は6～7月。種子により、きわめて繁殖しやすい。

(沢内村 大石氏提供)

Q: 記事を書く上で留意する点について教えてください。

(北上市 中学校PTA広報委員)

## 1 基本の5W1H

広報の中には学校やPTAの話題など様々な記事を取り上げますが、その記事を書く上で基本となるのが5W1Hとなります。そして、それに加えて1Bが入るとその記事により深みが出ると思います。

いつ	When	時
どこで	Where	所
だれが	Who	人
なにを	What	内容
なぜ	Why	原因
どのように	How	経過・結果
背景	Back	背景



## 2 書き方のコツ

文章を書くに当たっては、次のような書き方があります。深い内容にするためには、大事な点であると思います。

見て書く | 聞いて書く | 調べて書く | 考えて書く

## 3 3Cの文章

記事の内容や要旨を読み手のみなさんに伝えるためには、次の3Cが大事になります。

Clear	やさしく読みやすい文章であること
Concise	わかりやすく簡潔な文章であること
Correct	真実と正確性をもった文章であること

葉にやさしい虫除けは...

コーヒーやハーブティを草花や野菜の葉にかけることで、ダニの防除や病気の予防に効果があるそうです。インスタントコーヒーでもよいとのこと。一度試してみませんか？！

ぴい~たいは

ちょっと

ひと休み

知ってます？

こんなこと



小野寺 邦子さん



## W杯サッカーと私たち

### 国旗についての投書を読んで

サッカーの第 17 回ワールドカップが日韓共催で開かれ、31 日間の幕がおろされた。日本各地ではさまざまなチームへの応援に酔いしれ、新聞はその様子をこんなにも日本人が一つになったことはないと伝えていた。

そんな中、一つの投書が載った。それは国旗についてである。試合に出場しているチームの応援に日本人も国旗を作り、顔などにペイントをして応援に参加したのをテレビでみて、その国の国旗がどのようなものであるかをはじめて知ったものもあった。振り返ってみると、日本ではさまざまなイベントに万国旗をかざりとして会場を飾ることが多い。特に学校では運動会に使用している。その万国旗を点検してみたことがあるのかとの投書内容であった。

国旗はその国の象徴であり、世界各地で独立運動などが起きている中で、国旗がかわっているのにもかわらず、なんとなくダンボール箱から出し、係がグラウンドにたなびかせているのは本当にその国に失礼にあたると思った。

今や学校は完全学校週五日制にともない、総合的学習・体験学習と叫ばれている中、この機会に自校の万国旗を点検し、それぞれの国の国旗について学習し、新たに国旗を作成してみるのも一つの総合学習ではないかと考える。日本が世界が燃えたサッカーワールドカップ。単に勝敗だけでなく自分たちがこの機会に得たものがあれば、それが成果であろう。

**新聞を読んで今を語る会（通称：まうすりい）**は、複数の新聞を読み比べ、社会情勢から身近な出来事まで、いろいろな事柄について楽しくディスカッションしながら、お互い刺激しあって自分を高めていくことを願いスタートした会である。

ぴぴっと研究会では、平成 13 年 4 月より「まうすりい」を開始。平成 14 年 8 月現在 20 回を数える。

毎月第 2 火曜日、10 時から 12 時まで北上市立黒沢尻北公民館を会場に開催中。

参加希望者はどなたでも大歓迎！！

# 活動に励み

## 第七回NIE全国大会

### 札幌

8/1・2

今大会には、ぴぴっと研究会から

小笠原会長と濱副会長が参加。二日

目の分科会では小笠原会長が事例発

表を行いました。「子どもぴぴっとク

ラブ」など、地域にあつてのNIE



### 民間組織も活動後押し

本県のPPT

### 全国初、注目集める ゲームなど通じ身近に

【札幌市】「NIE全国大会」が札幌市で開かれ、民間組織の活動が注目された。NIEの普及を促すため、民間組織も積極的に活動している。札幌市では、民間組織の活動が注目され、NIEの普及が促進されている。民間組織の活動は、NIEの普及に大きく貢献している。民間組織の活動は、NIEの普及に大きく貢献している。民間組織の活動は、NIEの普及に大きく貢献している。

大会最終日の二日に開かれた分科会で、ぴぴっと研究会、小笠原味佐枝会長は、新聞を読む地域活動の様子を紹介。現役教師や新聞関係者によるNIE活動が大勢を占める中で、「民間による取り組みは画期的だ」と参加者の注目を集めた。  
(中略)  
NIEの教員研究組織十五道府県に二十三団体(日本新聞教育文化財団調べ)ある。民間組織は本県のぴぴっと研究会だけとなっている。  
分科会座長の同財団NIEコーディネーター、高橋守氏は、民間組織によるNIE活動はおそらく全国初のケースだろつ。ぴぴっと研究会は組織こそ小さいが、全国的に見ても新たな動きだ。岩手の活動は非常に注目される」とコ

(八月十九日付「岩手日報」より)

### 新聞まめちしき

その9

#### お守りとしてのかわら版

草創期のかわら版は単なるニュース媒体ではなく、歌い、唱えて楽しむ道具であり、病よけのまじないであり、あるいは、魔よけの護符的なものでもあった。

江戸時代の人々は、病気や地震火災などの災厄に対する技術的対抗手段が乏しくこれに代わるものとして俗信に頼る事が多かった。流行神・まじないなど新顔のものが出現すると先を争ってこれに走ったのである。かわら版にもこの傾向に便乗したものが少なくない。

災厄除けの効能をいいあてることは、当時の人々にとって最も強力な実用価値の保証であった。このように、護符としての性格を持つかわら版が庶民向けコミュニケーション手段の中心的存在として成立する。

このように単なる読み捨てニュースではなく、別個の実用価値にも依存するというかわら版の性格は、程度の差こそあれ、江戸時代の全期間を通じて認められるのであった。ニュース主体のかわら版が成立するまでには、幾多の紆余曲折を必要とした。

### 編集後記

立秋を過ぎての残暑。今年の夏、特にお盆の頃は肌寒くほんとに夏かと疑うほど…。やはり、夏は夏らしくがんが暑いほうが良いですね。とはいうものの、虫の声が日増しに大きくなり、店頭には秋の果物がたくさん並びだしました。食欲の秋だけでなく、いろいろな秋を満喫したいものです。

ご意見・ご感想をお待ちしております。

TEL・Fax 0197-64-0758

E-mail : [agi@titan.ocn.ne.jp](mailto:agi@titan.ocn.ne.jp)

ぴぴっと研究会